



## 当社フィリピン通信子会社 InfiniVAN が共同建設した Philippines Domestic Submarine Cable Network をフィリピン BOARD OF INVESTMENTS (BOI : 投資委員会) が外国投資の実現事例として紹介

2024年2月19日、フィリピン貿易産業省の附属機関である BOI は、フィリピンにおいて通信事業を営む当社連結子会社 InfiniVAN, Inc. (以下「InfiniVAN」という。) がフィリピンの通信事業者 Globe Telecom, Inc. 及び Eastern Telecommunications Philippines, Inc. と共同で建設した Philippines Domestic Submarine Cable Network (以下、「PDSCN」という。) について、外国投資の実現事例として紹介いたしました。

InfiniVAN は、PDSCN について昨年12月フィリピン BOI に登録申請し、BOI よりフィリピンの発展に寄与するものとして承認されております。この結果、PDSCN は5年間免税の税制優遇等が認められました。BOI は、日本はフィリピンへの海外直接投資 (foreign direct investments (FDI)) の要であるとし、フェルディナンド・マルコス Jr.大統領の日本訪問による日本・フィリピン両国の重要な経済パートナーシップをさらに強固なものとする具体的な成果として PDSCN を紹介いたしました。

BOI は、2月15日に開催された Philippines Domestic Submarine Cable Network Lighting Up Ceremony でのマルコス大統領からの『民間部門の協力の重要な役割を強調し、フィリピン国民への「信頼性が高く手頃なインターネットサービス」の提供を確保することの重要性について』の演説を紹介しております。また、注目すべき事項としてマルコス大統領が PDSCN の実現における日本の貢献を認めたことをあげ、マルコス大統領は演説の中で、「これは、我々が手本にしようと努めている日本の創意工夫や技術の進歩だけでなく、両国を永遠に結び付ける強い友情の絆の証でもある」と述べられたことを紹介しております。

他に宮下株式会社アイ・ピー・エス代表取締役の演説の要旨なども紹介されております。

BOI の事例紹介の内容は、以下のアドレスからご確認ください。

<https://www.dti.gov.ph/news/foreign-investments-actualized-pbbm-inaugurates-boi-registered-submarine-cable-project/>

社名：株式会社アイ・ピー・エス

証券コード：4390

所在地：東京都中央区築地4丁目1番1号 東劇ビル8階

代表者：代表取締役 宮下 幸治

本件に関する問い合わせ窓口：IR 課 03-3549-7719